

令和元・2年度地区指定研究協力校  
「学力向上(国語科)」研究公開  
伊佐市立本城小学校

**1 研究主題**

確かな読みで思いや考えを広げ深め、自分なりの表現に生かす子供の育成  
～国語科「読むこと」の指導を中心に～

**2 研究発表**

伊佐市立本城小学校では、令和元年度から2年間にわたり、地区研究協力校として、「確かな読みで思いや考えを広げ深め、自分なりの表現に生かす子供の育成」を研究主題に、研究・実践に取り組んできました。

研究発表では、論理的な思考力・表現力を育成するために、「よみナビ」を活用した具体的な実践が紹介されました。また、正確に読むために、「読み取りお助けシート」を活用して、観点をもって正確に読む取組も紹介されました。



【全体会の様子】

なお、研究仮説及び研究内容・具体的な取組は、以下のとおりです。

**【研究仮説1】**

読みの観点をもたせ、文章の構造や内容を理解させたり、読み取った内容を既知の知識やさまざまな体験と結び付ける学び合いの場を設定したりすることで、確かな読みの力を育成することができるのではないか。

**【研究仮説2】**

学びを生かす場や自他の考えを認めたり違いに気付いたりする場を設定し、自尊感情を高める手立ての充実を図ることで、自分なりに進んで表現する子供を育成することができるのではないか。

**【研究内容及び具体的な取組】**

- 1 思考を可視化し、根拠をもって表現したり、自他の考えを認め、自分の思いや考えを深めたりするための「よみナビ」の活用
- 2 観点をもって文章を読み、整理するための「読み取りお助けシート」の活用
- 3 豊かな語彙力を身に付け、すらすらと読むための、日常生活における諸活動の充実
- 4 自分の思いや考えを広げ深めていくための学び合いの場の設定や、「グループ学習の進め方」の活用
- 5 自他の評価を基に、自尊感情を高めるための「振り返りカード」の活用

### 3 公開授業

公開授業では、参加者の人数制限を行い、また、机間での参観を避けることによる新型コロナウイルス感染防止対策を行いました。

第1学年では、尾立 美鈴教諭が教材「どうぶつの赤ちゃん」を用いて、単元「くらべてよもう」の授業を行いました。本時では、興味をもったことについて、示された観点を基に、文章中の表現を根拠に教材文のよさについて自分の考えをまとめるとともに、「よみナビ」の活用し、順序を意識して自分の考えを伝える学習活動が行われました。



【第1学年 授業参観の様子】

第3学年では、笠置 加奈子教諭が教材「ありの行列」を用いて、単元「読んで感想をもち、つたえ合おう」の授業を行いました。本時では、教材文を評価する学習において、叙述を根拠に「よみナビ」を活用し、自分の考えを形成する過程を可視化する姿が見られました。また、終末には、次時の「追究課題」への意欲化が図られていました。



【第3学年 授業参観の様子】

第6学年では、西尾 佳一郎教諭が教材「海の命」を用いて、単元「登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう」の授業を行いました。本時では、前時に作成した人物関係図を基に、中心的な人物の考えの変容について、複数の人物の叙述を関連付けて自分の考えをまとめる授業が展開されました。



【第6学年 授業参観の様子】

### 4 授業研究会

公開授業の1年、3年、6年に分かれて行われた授業研究会では、研究内容の検証授業として行われた3つの授業について授業者が反省を述べた後、質疑応答・研究協議が行われました。また、この日は、中学校のさまざまな教科担当者の参加もあり、それぞれの実践を基にした質疑・提案・検討がなされ、充実した協議となりました。次は、参加者の感想の一部です。

- ・ 三角ロジック的な思考の捉え方は、大変興味深かった。「なんとなく」や「思いつき」の考えではなく、理由や根拠を可視化させることで、自分の考えが明確化され、自信をもって表現することができるようになることを実感した。
- ・ コンパクトで大変分かりやすく充実した研究内容であった。自尊感情を高めるための振り返り、「よみナビ」の活用等、大変すばらしい実践がなされていた。
- ・ 読みの観点が焦点化され、「こんな子供を育てたい」という本城小の思いが伝わってきた。参考にしたい。